

家庭科[家庭総合]

対応単元

高齢者との関わりと福祉、共生社会と福祉

目的

- 高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉について理解を深める。
- 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。

プランのポイント

- ▶ 高齢者への理解と連動して、その生活を支える制度をライフプラン全体として捉えられるようにした。

使用教材

- 『明るい未来へTRY!』 (パワーポイント全体版)
- 動画
 - NHK 高校講座 家庭総合
 - YouTube厚生労働省チャンネル

学習の展開 ※前の授業で、生徒たちは認知症サポーター養成講座を受講している。

| 時間配当 (分) | 学習内容と指導上のポイント | | 使用教材等 |
|-------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| | 学習内容 | ポイント | |
| 導入 (5分) | ① 認知症サポーター養成講座の振り返りを行う。 | ▶ 高齢者の生活や介護サービスの実態を認識させる。 | 【動画】NHK 高校講座 家庭総合 |
| | ② 高齢者や私たちの生活を支える制度が何かを知る。 | | |
| 展開 (40分) | ③ 介護保険制度を知る。 ・ 制度の仕組み ・ 地域包括ケアシステムの概要 | ▶ 介護保険制度を利用している高齢者の実態を動画から理解させる。 ▶ 予防のために地域が連携していることに目を向けさせる。 ▶ 認知症サポーター講師の仕事と関連付けることで身近なものであると感じさせる。 | 【動画】NHK 高校講座 家庭総合 |
| | ④ 社会保障制度を知る。 ・ 社会保険、社会福祉 ・ 保険の給付、負担の例 | ▶ 「3助」を通じた相互扶助で社会保障制度が成立していることを説明する。 ▶ 医療費領収書や給与明細書を通じて、保険が身近なものであることを認識させる。 | 【動画】NHK 高校講座 家庭総合 パワーポイント スライド23、26(Work)、公民科Work 1 |
| | ⑤ 年金保険制度について知る。 ・ 役割、意義 | ▶ 動画から年金保険の役割を考えさせ、高齢以外の年金保険から必要性を感じられるようにする。 | パワーポイント スライド27 【動画】YouTube厚生労働省チャンネル |
| | ⑥ 諸外国の社会保障制度と比較を行う。 | ▶ アメリカ、スウェーデンの社会保障支出と国民負担率のバランスから利点や課題を考えさせ、日本の社会保障制度の意義等の理解を深めさせる。 | パワーポイント スライド38、公民科Work 3 |
| まとめ (5分) | ⑦ まとめ | ▶ 社会保障制度を利活用するための納付義務や、知識を持つことの重要性を考えさせる。 | パワーポイント 公民科Work 2 |



授業ではひとり1台の端末を使用し、ICTを積極的かつ効果的に活用している

振り返りのあとは、介護保険制度に関して、高齢者の視点から制度の仕組みを紹介していきました。また、地域包括ケアシステムの仕組みも踏み込んで教えています。社会保障制度では社会保険、社会福祉、そのなかでも特に年金保険を取り上げています。年金保険は大人でも分かりにくいので、厚生労働省が配信している、生徒の興味を引きそうな動画を採用しました。ここでは社会保険制度や納税の意義、増税が単に嫌だというのではなく、国民の負担とサービスがリンクしていることを、生徒たちに理解させることがポイントだと考えています。

授業では動画やスライド、ワークなどを活用して生徒たちが飽きないような工夫をしています。生徒たちが身近に感じられる素材を選び、テンポよく進められるように組み合わせを考えて、順序立ててをします。また、授業を行う際、心がけているのは、

は単元全体を通じてストーリー性を持たせることです。今回は実際に、介護サービスを利用して高齢者の動画を観て、前回の認知症サポーターについての学びがつながるようにしました。特に最近では、身近に高齢者の姿を見ることがない生徒も多いです。動画で認知症の方や高齢者の日々の過ごし方を見せることで、ちょっとした気づきもあるようです。同時に、介護サービスの内容はどういうようになっていくのかを考えると、授業への導入にもなっています。知識を積み重ねたあとは、グループワークをして、生徒が考える時間を設けました。今回は「諸外国と日本の社会保障制度の比較」をグループワークのテーマとし、「明るい未来へTRY!」公民科用の「リスクに備える3つの助」を利用しました。生徒たちには、スウェーデン、日本、アメリカの社会保障制度の比較を見ながら、どの制度が良いと思うか話

し合わせました。ひとりだと自分の考えに偏ってしまいがちです。グループワークのよいところは、他者の意見を聞けることや、他者理解が深まることです。また、ICT端末を使って、グループ以外の人の意見も同時進行で見ることができるようになりました。ほかの生徒の考えを知ること、視野が広がったり意見の相違を考えたりするメリットもあります。私に問いかける生徒もいますが、生徒に考えさせる問いは正解がないものが大半ですので、必要以上のことは言わないようにしています。授業の「まとめ」では、リスクに備えるための知識として、民間保険にも触れました。民間保険の役割、仕組みは最低限の知識として伝えておく必要があると思います。リスクの発生を予想する、発生した場合の対処法や解決手段を選択する力を生徒たちに身に付けさせることが、なにより大事だと考えています。

振り返りのあとは、介護保険制度に関して、高齢者の視点から制度の仕組みを紹介していきました。また、地域包括ケアシステムの仕組みも踏み込んで教えています。社会保障制度では社会保険、社会福祉、そのなかでも特に年金保険を取り上げています。年金保険は大人でも分かりにくいので、厚生労働省が配信している、生徒の興味を引きそうな動画を採用しました。ここでは社会保険制度や納税の意義、増税が単に嫌だというのではなく、国民の負担とサービスがリンクしていることを、生徒たちに理解させることがポイントだと考えています。

は単元全体を通じてストーリー性を持たせることです。今回は実際に、介護サービスを利用して高齢者の動画を観て、前回の認知症サポーターについての学びがつながるようにしました。特に最近では、身近に高齢者の姿を見ることがない生徒も多いです。動画で認知症の方や高齢者の日々の過ごし方を見せることで、ちょっとした気づきもあるようです。同時に、介護サービスの内容はどういうようになっていくのかを考えると、授業への導入にもなっています。知識を積み重ねたあとは、グループワークをして、生徒が考える時間を設けました。今回は「諸外国と日本の社会保障制度の比較」をグループワークのテーマとし、「明るい未来へTRY!」公民科用の「リスクに備える3つの助」を利用しました。生徒たちには、スウェーデン、日本、アメリカの社会保障制度の比較を見ながら、どの制度が良いと思うか話

REAL VOICE
授業実践事例
リアルボイス
家庭科

高齢者への理解と連動して、社会保障制度などでリスクに備えることの重要性も理解

2年生の家庭総合の授業で、「明るい未来へTRY!」などを活用して授業を行った。石田実里先生に、授業のポイント、工夫した点などを伺いました。



埼玉県立三郷北高等学校 教諭
石田 実里 先生

ひとり暮らしを例として、 保険・貯蓄・資産運用を関連させた授業展開で 備えの重要性を理解

教材「明るい未来へTRY!」の冊子や動画を用いて、2年生の家庭総合の授業を行った
池垣陽子先生に、今回の授業プランの特徴や目的などを伺いました。



埼玉県立蓮田松嶺高等学校
教諭
池垣 陽子 先生

高校の家庭科では、生涯の生活設計を家族・家庭や福祉、衣食住、消費生活・環境といった内容と関連付けて授業を行います。
現在、本校では「住生活」について学習しています。ひとり暮らしをするにあたり、すまいや契約に関することだけでなく、金融・経済を含めた展開を考えました。
貯蓄や保険の他に、資産運用も話



金融庁の資産形成シミュレーターで金融商品ごとの運用結果を説明する池垣先生

題にしたことが、今回の授業プランの特徴です。ひとり暮らしは高校生にとつてたいへん興味のあることですが、万が一のことに多面から備えておかなければなりません。生徒たちは将来的にひとり暮らしや結婚して新たな家族と住んだりするでしょうから、現実的なこととして考えられるように内容を構成しました。

いたとしても、予期せぬ出来事が起きたらどうなるか。それまで貯えていたものを取り崩したり、夢をあきらめたりすることになりかねません。必要な損害保険に加入することによって生活を安定させたり、生活再建の助けとすることができるので18歳で法的な責任が生じる成人になるからこそ、高校で損害保険について学ぶ必要性を強く感じます。

資産形成シミュレーターを利用したりするなどの工夫もしました。授業の終わりには振り返りを行いました。私の方で簡潔に結論を言って終了するのではなく、どうすればひとり暮らしができるか、安心してを、自分の言葉でまとめさせました。「火災保険などの民間保険の必要性を感じた。加入しておけば安心だと思ったので、自分にとって必要な保険を、しっかり見極めて契約したい」とか「必要な保険に入って、貯蓄もして暮らしに関する安全を手にするようにしたい。リスクを考えて長期で投資をしてみたい」など、理解が深まった手ごたえを感じました。

授業ではまず、リスクの備えとして、保険に関する基本的なことを理解させました。その後、火災や風水害、地震の被害に遭った際、保険でどう対処できるか、冊子掲載のWorkに取り組ませました。多くの生徒が失火責任法を初めて知り驚いていましたが、すまいに関するリスクが起これると、高額な損失が発生してしまいます。
生涯を見通した計画を立てる中で、子どもの教育費、住宅購入費、老後の生活費などの大きな出費に備えて

今回の授業では、教材として「明るい未来へTRY!」を使用しました。冊子も動画も要点がまとまっています。分かりやすく、生徒の食いつきがよかったです。1本あたりの再生時間が短いので、動画を活用してテンポよく授業を進められました。自分事としてより身近に考えられるよう、地震のリスクでは政府の地震調査委員会が公表している「全国地震動予測地図」を見せたり、資産運用では金融商品により異なる運用実績を実感できるよう、タブレットを使って

そのためには、計画を立て備えることを学ぶ意義は大きいと思います。

今回実践した授業プランのご紹介

家庭科[家庭基礎、家庭総合]

対応科目・単元 消費生活(リスク管理を踏まえた家計管理)

| 目的 | プランのポイント | 使用教材 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ● すまいに関するリスクには、自分でカバーできないものが多いことに気づき、リスクに備える必要性和対処方法を知る。 ● 民間保険(損害保険)の役割について理解する。 ● 自身のライフプランを思い描き、生涯を見通した経済計画の重要性について考察し、実践しようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 住生活の内容と相互に関連を図り、今後経験する可能性の高いひとり暮らしに関するリスクを題材に、実践的に学ぶ展開にしました。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 「明るい未来へTRY!」 ・「家庭科用」(生徒用冊子/動画/パワーポイント) ・「やってみようこと編」(生徒用冊子/動画) |

学習の展開 ※学習の前提として、家計管理の基本について終わっていることとする

| 時間配当 (分) | 学習内容と指導上のポイント | | 使用教材等 |
|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 学習内容 | ポイント | |
| 導入 (8分) | ① 家計管理について(前時の復習)。 | ▶ 家計の構造を理解し、収支のバランスを考えていくことの重要性を確認する。 | 動画 「憧れのひとり暮らしがしたい!」●4:05まで |
| | ② ひとり暮らしで遭遇する可能性のあるリスクは何があるかを考える。 | ▶ リスクとは、(事故などにより)危険や経済的な損失が発生する可能性のこと。 ▶ 各自で考え、発表した後に動画を視聴させ、リスクに備える必要性に目を向けさせる。 | |
| 展開 (39分) 各配分 ① 8分 ② 4分 ③ 15分 ④ 12分 | ① リスクへの備え方を考える。 ・ 社会保険と民間保険 ・ 民間保険の種類 ・ 貯蓄と保険の違い | ▶ 冊子の配布 ▶ 保険の種類や役割、「貯蓄は三角、保険は四角」の考え方について説明する。 ▶ 保険は相互扶助で成り立つ制度であり、安心を準備することでもありと補足する。 | 冊子 P.6~7 動画 「家庭科用 リスクに備える保険」●5:20~6:13 パワーポイント 「貯蓄は三角、保険は四角」 |
| | ② すまいに関係する保険(火災保険・地震保険)を知る。 | ▶ 動画でポイントを把握させる。 (家財の火災保険、借家人賠償責任保険、個人賠償責任保険など) | 動画 「憧れのひとり暮らしがしたい!」●4:06~7:22 |
| | ③ すまいに関係する保険について、P21のWorkに班で取り組む。 | ▶ P31の資料②③を見ながら、班ごとに考えさせる。 ▶ 補足説明をしながら答え合わせをして、社会保険では保障されないからこそ、民間保険(損害保険)で備える必要性を再認識させる。 ▶ なぜ賃貸住宅の入居時は火災保険の加入が事実上必須なのかを投げかける。 ▶ 賃貸借契約における借主の義務を思い出させ、契約に係る責任の重さに気付かせる。 | 冊子 P.21、31 |
| | ④ 資産運用の種類と特徴を理解する。 ・ 金融商品の判断基準 ・ 主な金融商品 ・ 資産運用のリスクとリターン | ▶ 支出に関するだけでなく、貯める方法や長期的な視点でお金を増やす方法を考えさせる。 ▶ 普通預金の金利の低さを金融庁の資産形成シミュレーターで体感させ、資産運用に目を向けさせる。 ▶ あくまでも余剰資金で運用するもので、短期的な備えには投資は向かないことを補足する。 | 【タブレット】 動画 「家庭科用 資産運用」●2:35~4:50 冊子 P.4~5 |
| まとめ (3分) | ● 本時の学習内容について振り返る。 | ▶ 収支バランスだけでなく、リスクへの対応を考えた家計管理と経済計画が必要であることを確認する。 ▶ 学んだことを自分の言葉でまとめさせる。 | 冊子 P.2~3 |

人生を楽しむために リスクに対する備えとしての保険

教材「明るい未来へTRY!」と、動画、ICT機器を併用し、1年生の家庭基礎に
向けた授業案を作成した内田文子先生。実際の授業での進め方や生徒の反応など
を伺いました。



東京都立三鷹中等教育学校
家庭科指導教諭

内田 文子 先生

生徒たちの人生には、将来い
ろんな出来事が待っています。た
くさんの楽しい出来事もあると思
います。ただし、その実現のため
にはお金が必要ですから、貯蓄を
して備えることが大切です。

一方で、人生にはリスクも隠れ
ていて、それにより相手も自分も
傷つくことがあります。生徒たち
にはリスクに対して無防備でいて
欲しくないと考えています。そこ
で、リスクに対する備えのひとつ
として、今回、民間保険を授業で
取り上げました。

学びの共有を通じた 生徒主体の授業

授業をするにあたり、日本損害
保険協会のホームページに掲載さ
れている「明るい未来へTRY!」
の動画教材も併せて使うことにし
ました。6つのテーマの動画がアッ
プされていました。限られた授
業時間内で、生徒全員がすべて見
ることはできません。
なるべく多くのテーマに関して
知って欲しいと思い、予め6人程
度のグループに分け、生徒たちに
1テーマずつ、担当のテーマを決
めて見てもらいました。また、事

前に、教員がグループごとのファ
イル(学んだことを記載)を作成
し、生徒たちと共有しました。そ
うすることにより、生徒たちは授
業中に自分のグループのファイル
にそれぞれが学んだことを記入し、
ひとつのファイルをグループメン
バー全員で共同編集することがで
きます。共同編集した後は、ファ
イルを見ながら生徒同士で発表し
たり、話し合ったりさせました。
この方が教員が一方的に説明する
よりも、各テーマに対する共感も
生まれやすいのではないかと考え
たからです。

入るときには、多様な保険の中で、
自分のニーズに合うものを調べて
選びたいとか、想像以上に世の中
にはリスクがあり、それぞれに対
応する保険があるけれど、保険の
種類によって保障(補償)範囲が
違うことが分かった、という意見
もありました。

また、方が一、事故の加害者に
なってしまったら、多額の賠償を
支払わなくてはならない可能性が
あるということも、大半の生徒は
知らなかったようです。感想のな
かで多かったのは、「保険の重要性
が分かった」「保険には入ってお
いた方がいいが、いろいろな保険が
あるから、入る時は調べることで
大切だと思った」というものでし
た。授業を通して生徒たちが自分
ごととして、保険やリスク管理を
考えるきっかけになったのではな
いかと思います。



損害保険のことはよく知らないといいつながら
熱心に授業に取り組む生徒たち

今回実践した授業プランのご紹介

家庭科[家庭基礎、家庭総合]

対応単元(例) 消費生活(お金の管理とライフプラン)

目的

- 偶然発生した事故や災害のリスクは、人生を変えてしまうかもしれない。その経済的損失に備えるためにいろいろな保険があることを知る。
- 人生を変えてしまうかもしれないリスクとそれに対応する保険があることをグループで共有する。

プランの ポイント

- ▶ ささまざまなリスクに対する保険があることをグループで共有するための方法として、ICT機器を用いてグループごとにファイル(学んだことを記載)を共同編集し、生徒各自が学んだことを共有するプランにしました。

学習の展開 ※学習の前提として、「保険のしくみ」と「社会保険と民間保険」について終わっていることとする。

| 時間配当 (各) [計] | 学習内容と指導上のポイント | | 使用教材等 |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| | 学習内容 | ポイント | |
| 導入 (5分) [5分] | ① 人生を変えてしまうかもしれないリスクには何があるかを考える。 | ▶ 保険の役割について確認させる。 | 冊子 「保険の役割」 |
| | ② 貯蓄と保険について知る。 | ▶ 「貯蓄は三角、保険は四角」の考え方について確認させる。 | パワーポイント 「貯蓄は三角、保険は四角」 |
| 展開 (40分) [45分] | ① リスクへの備え方について考える。 | ▶ 民間保険(損害保険)について学習することを知らせる。 | 冊子 「リスクへの備え方」 |
| | ② グループに分かれて「やってみたいこと」の①～⑦の中から興味のあること4テーマを選び、それぞれ動画*を視聴する。(1グループ6人程度とする。) | ▶ グループのなかで、生徒一人ひとりに担当のテーマを割り振って、選んだ動画をICT機器で視聴させる。 ▶ 視聴後、ICT機器を利用し、グループごとに用意しておいたファイルに生徒各自が視聴した内容をまとめさせる(共同編集させる)。 まとめる内容(例) ・ リスクに備えるために私たちにできること ・ 視聴して、皆と共有したいこと など | 動画 「やってみたいこと」*の 中から選択して各自視聴 冊子 「やってみたいこと編」、 「資料編」 |
| | ③ 各自まとめたことを、各グループで共有する。 時間に余裕のあるグループは、貯蓄と保険の違いについて、それぞれのメリット・デメリットを考える。 | ▶ グループごとに発表させる。 1人当たり3～4分(質問時間を含む)とする。 | |
| | ④ リスク管理(リスクマネジメント)について考える。 | ▶ 各グループの発表終了後、フォーム機能等を用いてアンケートを実施し、生徒に感想を送ってもらう。 | |
| まとめ (5分) [50分] | ● 本時の学習内容について振り返る。 | ▶ 集計した結果を生徒たちに見せて、本時のねらいの達成に向けた実現状況を確認させる。 | |

*「ボランティアがしたい!」の動画はありません。